

NEWS RELEASE (2023年10月12日) 告知依頼

藩校造士館創立 250 周年・鹿児島大学法文学部附属
「鹿児島の近現代」教育研究センター
設立 1 周年記念シンポジウム

「五代友厚と〈鹿児島の近現代〉のお知らせ

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

「鹿児島の近現代」教育研究センターでは、令和 5 年 10 月 29 日（日）に、弊センター設立 1 周年並びに鹿児島大学の源流のひとつである藩校造士館創立 250 周年を記念してシンポジウムを開催します。

本シンポジウムは、旧薩摩藩出身の五代友厚が近現代の日本と鹿児島にどのような影響を及ぼしたのか、その歴史像を詳らかにします。

第 I 部「基調講演」では、八木孝昌氏（一般社団法人日本コミュニカレッジ講師）と井上潤氏（公益財団法人渋沢栄一記念財団渋沢史料館顧問）に講演を依頼しました。八木氏には、五代友厚に関する伝記的な著書を出版された経験から、五代と近代の鹿児島との関わりについてご講演いただきます。井上氏には、長らく渋沢栄一研究に携わってこられた経験から、五代と渋沢とを対比して見えるそれぞれの企業家としての「個性」についてご講演いただきます。八木・井上両氏の講演を通して、「近代」の日本における五代の歴史的位置を再考する機会を提供します。

第 II 部「トークセッション 五代友厚と〈鹿児島の近現代〉」では、メディアにおける「五代友厚」像の形成や、五代と鹿児島との関係をめぐる〈記憶〉の継承のあり方をテーマとして、鉾山経営や西南戦争との関わり、島津家に対する意識などをキーワードとして議論を行います。登壇者として、上記講演者に加え、田中光敏氏（映画監督）、寺尾美保氏（立教大学特任准教授）、下豊留佳奈氏（郷土史家）の 3 名をゲストとしてお招きし、それぞれの立場から見た五代と近代の鹿児島について語っていただきます。

つきましては、下記の通り詳細をお知らせいたしますので、広く一般の皆様方への告知をお願いいたします。

記

【日 時】2023（令和 5）年 10 月 29 日（日）13：30～16：45（開場 12：30）

【会 場】かごしま県民交流センター大ホール（定員 250 名）

【同時配信】YouTube ライブ

【対 象 者】学生、一般市民

【内 容】

12：30 開場

13：30 開演

13：30～13：40 開会挨拶

13：40～13：50 センター設立 1 周年の総評（尚古集成館長 松尾千歳先生）

13：50～14：00 企画趣旨説明（「鹿児島の近現代」教育研究センター長 丹羽謙治）

14：00～14：40 基調講演①「五代の「弘成館」鉾山業一半田銀山をめぐって」

（一般社団法人日本コミュニカレッジ講師 八木孝昌氏）

14：40～14：50（休憩）

14：50～15：30 基調講演②「近代日本社会の創造者渋沢栄一思想と行動～五代友厚との関係に触れながら～」

(公益財団法人渋沢栄一記念財団渋沢史料館顧問 井上潤氏)

15：30～15：40 (休憩)

15：40～16：40 トークセッション「五代友厚と〈鹿児島近代〉」

◎登壇者：八木氏、井上氏、田中光敏氏(映画監督)、寺尾美保氏(立教大学特任准教授)、下豊留佳奈氏(郷土史家)、丹羽謙治教授(「鹿児島近代」教育研究センター長、コーディネーター)

16：40～16：45 閉会挨拶、事務連絡

16：45 閉会

【申込み先】 申込専用フォームによる事前申請(参加費無料)

<https://x.gd/38yWP> (別紙でQRコードをつけております)

【締切日】 令和5年10月22日(日)

※会場・オンラインともに事前申し込みが必要です。

【参考URL】 <https://kadai-kingendai.jp/information/231029-symposium01/>

(別紙にQRコードあり)

【お問い合わせ先】

鹿児島大学法文学部附属「鹿児島近代」教育研究センター事務室 河野(こうの)

TEL：099-285-7532 Mail：kingendaijim@leh.kagoshima-u.ac.jp

【別紙】

藩校造士館創立 250 周年・鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター
設立 1 周年記念シンポジウム
「五代友厚と〈鹿児島の近現代〉」QR コード

※「鹿児島の近現代」教育研究センター、シンポジウムお知らせ記事の QR コード



※お申し込みフォームの QR コード



以上